

1年言語と文学 (MYP 2 Language and literature) 【国語：4単位】

科目のねらい

MYP「言語と文学」のねらいでは生徒が以下のことができるように期待されています。

- ・言語を思考、創造性、振り返り、学習、自己表現、分析、および社会的な相互作用の手段として利用する。
- ・さまざまな文脈で、聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと、見ること、発表することに関わるスキルを身につける。
- ・文学および非文学のテキストを学習し分析することへの、批判的で創造的で個人的なアプローチを探究する。
- ・歴史上のいろいろな時代とさまざまな文化のテキストに取り組む。
- ・文学および非文学のテキストを通して、自分の母国や現在住んでいる国の文化、その他の文化を探究し、分析する。
- ・多様なメディアや伝達様式（モード）を通して言語を探究する。
- ・生涯にわたる読書への関心を育む。
- ・実際のさまざまな文脈において、言語的・文学的な概念とスキルを応用する。

目標および評価基準

MYP 評価観点	
A: 分析	i) テキストの内容、文脈、言葉、構造、技法、およびスタイル（文体）と、複数のテキスト間の関係性を特定し説明する。
	ii) 作者の選択が、受け手に与える効果を特定し説明する。
	iii) 例、説明、用語を用いて、意見や考えを正当化する。
	iv) ジャンルやテキストにおいて、または複数のジャンルやテキストにわたって、特徴の類似点と相違点を解釈する。
B: 構成	i) 文脈と意図に応じた組織的構造を使用する。
	ii) 意見や考えを、持続的で一貫性のある、論理的な方法で整理する。
	iii) 執筆のフォーマットを利用して、文脈と意図に適した体裁を作成する。
C: 創作	i) 創造的プロセスへの個人的な関わりから生じる新しいものの見方や考え方を探究し検討しながら、思考、想像力、感受性を示すテキストを創作する。
	ii) 言語的、文学的、視覚的な表現の観点から、受け手に与える影響を認識したスタイル（文体）を選択する。
	iii) アイデアを発展させるために、関連する詳細情報と実例を選び出す。
D: 言語の使用	i) 適切で多様な語彙、構文、表現形式を使用する。
	ii) 適切な言語使用域（レジスター）とスタイル（文体）で書き、話す。
	iii) 正しい文法、統語法、句読法を用いる。
	iv) 正確に綴り（アルファベット言語）、書き（文字言語）、発音する。
	v) 適切な非言語的コミュニケーション技法を利用する。

※ねらい・目標の記述は、IBO発行の「Language and literature guide」に基づいています。

関連概念（言語と文学の学習を通して、生徒は以下の概念についても考えます）

受け手側の受容	登場人物	文脈	ジャンル
テキスト間の関連性	視点	目的	自己表現
設定	構成	スタイル(文体)	テーマ

年間計画

時期	ユニット	1. 重要概念 2. グローバルな文脈 3. ATL	学習内容・教材等	総括的評価課題のMYP評価観点（【 】内） および課題概要と評価方法	1. 学習指導要領 観点との対応 2. 道徳内容項目 とのつながり
前期 (4月～9月)	1	1. コミュニケーション 2. 公正性と発展 3. 協働	意見交流・合意形成の方法 〔知識及び技能〕 第1学年 (1)ア(2)ア・イ 〔思考力、判断力、表現力等〕 A 話すこと・聞くこと 第1学年ア・イ・ウ・エ・オ	グループプレゼンテーションのための話し合い 【B】話し合いの整理や議論の発展につながるような声かけや問いかけを行い、洗練された結論を出すことに貢献する。 【C】課題を成功させる創造的なプランを作成し、振り返る。 【D】状況に応じた声の大きさ、アイコンタクトなどを適切に使い、コミュニケーションがよりよく実現するように話す。	1. ①知識・技能-D ②思考・判断・表現-B ③主体的に学習に取り組む態度-C 2. B-9
	2	1. 形式 2. 個人的表現と文化的表現 3. コミュニケーション	論理的な文章構成 エッセイやレポートの書式、文体、引用の仕方 「ダイコンは大きな根?」「ちょっと立ち止まって」(教科書)他 〔知識及び技能〕 第1学年(1)ウ(2)ア・イ(3)オ 〔思考力、判断力、表現力等〕 B書くこと 第1学年 ア・イ・ウ・エ・オ C読むこと 第1学年 ア・ウ・エ・オ	論理的エッセイ 【B】原稿用紙を正しく使い、序論・本論・結論の構成を示す。自分とは異なる意見の存在を想定して、説得力が増すように主張・考察を明確に書く。引用する場合は正しい方法で行う。 【C】ありきたりではない新しい視点やアイデアを提示し、考えを深める。具体例、データ、引用によって、考えを深め、読み手を説得できるような独創性を示す。課題を成功させる創造的なプランを作成し、振り返る。 【D】漢字で書くべきところは正しく書き、句読点等にも留意し、文字や文を正しく整えて書く。論理的文章にふさわしい語彙を使いこなす。	1. ①知識・技能-D ②思考・判断・表現-B ③主体的に学習に取り組む態度-C 2. C-18
	3	1. 創造性 2. 個人的表現と文化的表現 3. 創造的	描写と解釈 「シンシュン」「星の花が降るころに」「少年の日の思い出」「きみの友だち」「西の魔女が死んだ」「あと少し、もう少し」「夏の庭」「バッテリー」 〔知識および技能〕 第1学年(1)ウ・オ(2)ア・イ(3)ウ・オ 〔思考力、判断力、表現力等〕 B書くこと 第1学年 イ・ウ・エ・オ C読むこと 第1学年 イ・ウ・エ・オ	文学表現コメンタリー 【A】作品に描かれた中心的な変化やすぐれた描写とはどのようなもので、どのように効果的に表現されているのかを、授業で学んだ用語や着眼を適切に用いて比較分析する。 【B】指定された用紙を用いて書き、複数の解釈を組み合わせ、根拠のある一貫性のある解釈を成立させている。	1. ①知識・技能-B ②思考・判断・表現-B ③主体的に学習に取り組む態度-A 2. A-3
後期 (10月～3月)	4	1. つながり 2. 時間的空間的位置づけ 3. メディアリテラシー	古典文学を読む 「竹取物語」(教科書)他 〔知識及び技能〕 第1学年(2)ア・イ(3)ア・イ・エ・オ 〔思考力、判断力、表現力等〕 B書くこと第1学年 ア・イ・ウ・エ・オ C読むこと 第1学年 イ・ウ・エ・オ	竹取物語に存在する型を、現代テキストを例示して説明するポスター 【A】古典から現代までつながる型を発見し、竹取物語と現代テキストから例を挙げて分析する。 【C】新しい型を発見し、適切な例を自分で探し出して説明する。 【D】文字や文を正しく整えて書く。情報が読み手に伝わりやすいポスターになるよう、情報量・配置・文字の大きさなどを工夫する。	1. ①知識・技能-D ②思考・判断・表現-A ③主体的に学習に取り組む態度-C 2. C-17
	5	1. コミュニケーション 2. 個人的表現と文化的表現 3. 批判的思考	正しい言葉とは何か 言葉の単位・文の組み立て 〔知識及び技能〕 第1学年(1)エ(2)イ 〔思考力、判断力、表現力等〕 B書くこと 第1学年 ア・イ・ウ・エ・オ	日常表現を文法的に解説するレポート 【A】授業で学んだ文法事項や文法用語を用いて、日常表現について文法的性質について分析、考察する。 【D】文字や文を正しく整えて書く。ふさわしい語彙を使いこなす。	1. ①知識・技能-D ②思考・判断・表現-A ③主体的に学習に取り組む態度-A 2. C-18

※〔知識及び技能〕(1)語彙・漢字・言葉遣い(2)情報(3)書写・読書の内容については、上記に示されていない場合も適宜取り扱う。